

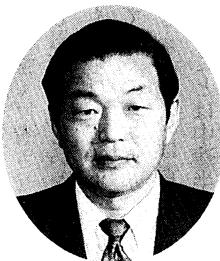
日々の想ひ

づいそう



心に残る生徒たち

斧田好武



つづじ、菜種などの花をプレゼントしてくれたことです。また、翌年の長男誕生に際しては、おしめを届けてくれたことです。聞けば、全員が

家から布を持ち寄り、放課後に女子生徒が手分けして縫つたとのことです。真心のこもった手作りの贈り物は、何にも替えがたい嬉しいものでした。

考えさせられたことでは、学習遅進児への対応でした。A子は、普通児のように行動できず、学習についていけない状態でした。家庭的に恵まれませんでした。良い面は、働くことを苦にしない、幼児や動物の面倒見が良い、漫画や折り紙を好みと言つたことでした。感受性のするどい子でしたから、自分を冷遇する者と親切にしてくれるものへの強い思いが、この子の日記にはいつも記入がありました。

嬉しかったことでは、結婚休暇に入る前に学級の子どもたち全員が「先生おめでとう」と言って山吹、三年間担任して、この子に対する精神的な援助や知的な援助は適切で

あつただらうか、そんなことを考えると教育という責任の重さを痛感させられます。せめてもの救いは、数年の間、かかさず年賀状のやりとりをし、近況を知ることができたということでした。また、結婚して二年目に主人と子どもと一緒に私の家を訪ねて来ました。末永く幸せであつてほしいと願うばかりです。

苦しかったことでは、学校全体が校内暴力の渦中にあり、学級の生徒も巻き込まれ、重苦しい異様な中の授業が数ヵ月も続いたことです。

学校としては、悩みや不満の調査をしたり学級会、個別面談、家庭訪問、懇談会等を行い、生徒理解に努める

教職と子育ての間で

安斎美輝



自分の子どもが四歳になり、子育ても少し楽になつたな、と思う間もなく、返事をしなくなったり、言うことを聞かなくなつたりして、私自らいらいらすることも多い。子どもは、親の思い通りには動いてくれないことを痛感している。

最近、読んだ新聞に、教員をして

とともに正しいことが通じるような学校 学級作りに日夜励みました。

当時の子の結婚式に招待されたび、校内暴力のことが頭をよぎつて胸が痛みます。当事者だった子から「恩師の挨拶をお願いします。」と言われたときは、一人前に成長した喜びと何も聞き入れずに行動したその子の姿が交錯し、複雑な心境でした。

子どもにとつて教師から受ける影響は、多大なものがあります。思い出を大切に、反省を生かし、心して教育にあたらねばと考える今日この頃です。

(玉川村立玉川第一小学校教頭)

いた方が、人の子を預かつて自分の子どもの面倒を見れないのは……と思ふ、四年ほど勤めた教職をやめて家庭に入り、子どもの手が離れた十一年後に教職に戻つた(講師なのか教諭なのかはわからない)、という記事が載つていた。自分の子どもを育てて教職に戻つたところ、生徒に對